

2022年9月2日号掲載



各地の話題 南三陸町

新しい挑戦 ～1から始めたセリ栽培～



南三陸町戸倉地区^{ほしや}干谷で、新規就農者としてセリ栽培を始めたのが阿部^{たかひろ}高裕さん(44)だ。

阿部さんは町内で建設業に携わっていたが、父の健一さん(75)が水稻を栽培している水田を活用し、転作作物でセリ栽培を検討。令和3年5月から「河北セリ」で有名な石巻市の農家で研修し、栽培技術を学んだ。

併せて町や県農業改良普及センターの指導のもと、青年等就農計画を作成し、今年4月に

町の認定新規就農者となり、セリ栽培を開始した。

面積は父から借り受けた50aで、就農当初は今年から収穫できるようにするための圃場づくりに追われた。今年は暗渠などの作業が完了した20aの作付けで3.2tの収穫を計画しており、5年後には8tの収穫量を目指す。

直近の心配事はカモとシカによる鳥獣被害だ。カモ対策には畔シートやネットで侵入を予防し、今後はシカ向けの電気柵を設置していく予定だ。

今年の収穫開始は10月中旬を予定している。



造成中のセリ畑

【記事提供：南三陸農業委員会】